第３学年１組　体育科学習指導案

日　時　７月11日（金）５校時

対　象　３年１組　32名

授業者　阿保　秀歩

１　単元名　「３・５ジャンプでピタッと着地」（C　走・跳の運動，ウ　幅跳び）

　　教材　　「幅跳び」

２　本時のテーマ　　友達と高め合う学びっぷり

３　本時の授業

（１）目標　　同じ課題をもつ友達同士で場を選んで活動することを通して，自分や友達のよい動きや課題に気付き，運動のポイントと結びつけながら伝えることができる。

（２）展開　5/6

|  |  |
| --- | --- |
| 学習活動 | ・教師の働きかけ　◎評価　☆支援 |
| １　めあてを設定する。  もっと高く，遠くへとぼう。  ２　道具の準備  ○基礎感覚づくりと計測の場を準備する。  ３　基礎感覚づくり運動をする。  ・連続ラバーリングジャンプ  ・両足連続ジャンプ  ４　課題に合わせた場で活動する。  ○両足で着地ができない  ・セーフティマットへの両足着地  ・立ち幅跳び（踏み切り板）  ○踏み切り足が決まらない  　・スズランタッチ  ・小型ハードルリズム走  ○助走の歩数が合わない  　・マットとラバーリング(足型)  ○高く跳べない  　　・ゴム切り  　　・具体物の跳び越え  　※計測と同じ活動場所を作っておくことで，いつでも練習したことを試せるようにする。  ５　本時の計測をする。  ○複数回計測する。  ６　振り返りをする。  ○自分のことや友達の頑張りについて振り返る。  ７　片付け | ・幅跳びの様子を図で見せながら，これまでに見付けた運動のポイントを確認する。  　「力強い踏み切り」「斜め上へ跳ぶ」  「膝を曲げた両足着地」「３歩・５歩の助走」  「（１・２）１・２・３のリズム」  ・グループで手分けしながら，安全に素早く準備することを意識させる。  ・力強く地面を蹴り，高く跳ぶことを意識させる。  ※４次の時点で，自分が感じる課題を設定させて人数を把握しておき，活動の場を充分に設定できるようにする。  ・それぞれの場で使う道具を準備させる。  ・同じ場で運動する友達同士が助走をするときにリズムを取り合うことで，歩数を意識しながら調子よく走れるようにするとともに，一体感や楽しさを味わわせる。  ・踏み出す足がどちらか分からなくなる子のために，左右の足型を準備しておく。  ・活動時に同じ場にいる友だちと動きを見合い，考えを伝え合う時間を設ける。  ◎よい動きや課題を見付けて伝えることができている。  【思考・判断・表現】発言，記述  ☆考えを表現することが苦手な子への支援として，運動のポイントを示し，よい動きや課題を一緒に考える。言葉で伝えきれなかったことはノートに書き，次時に交流させる。  ・計測した記録を全てメモしておき，最も遠くへ跳んだものを本時の記録とさせる。  ・全体で発表した後，課題に対する自分の取組と一緒に活動した友達のよい動きについて学習ノートにまとめさせる。  ・振り返りを学習ノートにまとめ次第，片付けさせる。 |